

urbicus, a, um, *adj.* [urbs] 1 都市の。2 ローマ(市)に属[関]する。
Urbigenus pāgus, i, m. = Verbigenus pagus.
Urbīnās¹, ātis, *adj. f.* [Urbīnum] Urbīnum の。「人」
Urbīnās², ātis, *m.* [Urbīnās¹] Urbīnum Urbīnum, i, n. 北部 Umbria の町(現 Urbino).
Urbīus, i, m. Roma における街路。
urbs, urbis, *f.* 1 都市, 主都(特にローマ), 城塞(Athenae の)。2 都会人。3 主要事項, 要点, 中心点。
ūrceolāris herba, ae, *f.* (植)イラクサ類。
ūrceolus, i, m. [urceus] 小さなつば, 水さし。
ūrceus, i, m. つば, 水さし。
ūrēdium, i, n. (植)夏(胞)子堆(子)。
ūrēdō, dinis, *f.* [uro] 1 黒穂病。2 むずむずすること。
ūrēdosōrus, i, m. = uredium。
ūrētēr, ēris, *m.* (医)尿管。
ūrēthra, ae, *f.* (医)尿道。
ūrēthralis, e, *adj.* (医)尿道...
ūrēthritis, tidis, *f.* (医)尿道炎。
urgeō, ēre, ursi, *v. a., v. n. I. (v. a.)* 1 (強く・無理に)押す, 駆り[追]立てる, 急迫する, 悩ます, 激しく迫る, 圧迫する(alqm, alqd re). 2 熱心に行なう。3 (ある事)を強調[主張]する。4 押しよめる, 取って代る。5 努力する(alqd, c. inf., acc. c. inf.). II. (v. n.) 差し迫る, 急迫する, 利頭する。
urgueō =urgeo.
Uria, ae, *f.* Calabria の町(=Eruca).
ūrica, ae, *f.* (動)ケムシ(毛虫)。
ūrigō, ginis, *f.* [uro] 1 (医)皮癬(癬)。2 情。
ūrīna, ae, *f.* (医)尿。「欲」
ūrīnātor, ōris, *m.* [urinor] 潜水夫。
ūrīnō, āre, *v. a.* [urina] =urinor.
ūrīnor, āri, ātus sum, *v. dep.* [urina] もくろむ。
ūrion, i, n. 鉱物を含む土地。「添え名」。
Ūrios, i, m. 順風を与える者(Jupiter 大神の)。
Uritēs, um, *m. pl.* [Uria] Uria の住民。
ūrīum, i, n. =urion。
urna, ae, *f.* [√uro] 1 水がめ。2 かめ, つば; くじつば, 情つば。
urnālis, e, *adj.* [urna] つば一杯分の。
urnārium, i, n. [urna] 水がめを置く戸だな[テーブル]。
urnula, ae, *f. dim.* [urna] (小)つば。
ūrō, ere, ūssi, ūstum, *v. a.* 1 焼く, あぶる, 焦がす(alqd, alqm). 2 焼き払う, 荒廃させる。3 ひからびさせる。4 傷つける。5 感情をおおる, たきつける(alqm); (pass.) 感情が熱する。6 不安にする, 苦しめる(c. acc.). 「性尿器...」
ūro-genitālis, e, *adj.* (医)泌尿生殖器...
ūrologia, ae, *f.* (医)泌尿器(科)学。

ūropŷgium, i, n. 1 尾骨。2 しり(鳥の); (動)尾隆起。
urpex, picis, *m.* =irpex。
urruncum, i, n. 穂の下部(麦や稲などの)。
ursa, ae, *f.* [ursus] 1 雌熊。2 (天)熊座。
Ursa Māior, ae, *f.* (天)大熊座。
Ursa Minor, ae, *f.* (天)小熊座。
ursi, *pf.* [urgeo]. 「と」
ursus, i, m. 1 雄熊。2 犬を熊にけしかけること。
urtica, ae, *f.* 1 (植)イラクサ(蓇麻)属; (動)植虫類。2 むずむずすること, 情欲。
urticāria, ae, *f.* (医)蕁麻疹(疹)。
ūrūca, ae, *f.* (動)ケムシ(毛虫), アオムシ(青虫)(=eruca, urica)。「牛」
ūrus, i, m. (動)野牛の一種, (中世以前の)野。
Uscāna, ae, *f.* 東部 Illyria の町。
Uscānēsēs, ium, *m. pl.* [Uscana] Uscana の住民。
ūsia, ae, *f.* 1 本体。2 本質。3 存在。
ūsio, ōnis, *f.* [utor] 使用。
Ūsipetēs, um, *m. pl.* (Rhenus 河辺の) Germania にいた一種族。
Ūsipii[-pi], ōrum, *m. pl.* =Usipetes。
ūsītātē, *adv.* [usitatus] 習慣に従って。
ūsītātus, a, um, *p. p., p. a.* [usitor] 通例の, 普通の, 慣例の。
ūsitor, āri, ātus sum, *v. freq. dep.* [utor] しばしば使用する。
Uspē, ēs, *f.* Siraci 種族の町。「民」
Uspēsēs, ium, *m. pl.* [Uspe] Uspe の住。
ūspīam, *adv.* [us+pīam] 1 ある場所ど, どこかで。2 何らかの方法で。
ūs-quam, *adv.* 1 ある場所ど, どこかで。2 ある事において, ある場合に。3 ある場所へ, どこかへ。4 何らかの方法で。
ūs-que, *adv.* 1 続けさまに, 絶えず。2 ...から(このかた)...まで(ずっと)。3 (c. prep.) usque a [ex, ad, in]. e.g. ~ a Capitolio; ~ ad vesperem 夕方に至るまで。4 (c. acc.) e.g. ~ pedes. 5 (c. adv. または conj.) 『inde ~ そこから...まで; ~ eo そこまで; ~ dum ...までずっと; ~ quaque =usquequaque.』
ūsque-dum, *conj.* ...までずっと。
ūsque-quāque, *adv.* 1 至る所に。2 いつ(までも)。3 全く。
ūsque-quō, *adv.* 1 いかにか長らく? 2 どこまで? 3 (關係的) ...ところまで, (そして)そこまで。
ūssi, *pf.* [uro].
Ūstīca, ae, *f.* Sabini 人の国にあった丘, Horatius の別荘に近かった。
ūstilō, āre, *v. a.* [uro] =ustulo。
ūstiō, ōnis, *f.* [uro] 1 焼く[焦がす]こと。2 (医)炎症。
ūstor, ōris, *m.* [uro] 死体を焼く人。
ūstrina, ae, *f.* [uro] 1 火葬場。2 焼く[燃やす]こと。「く, 焦がす」
ūstulō, āre, āvi, ātum, *v. a.* [uro] (少し)焼

ūstus, a, um, *p. p., p. a.* [uro] 焼かれた。
ūsualis, e, *adj.* [usus] 1 日用の。2 日常の, 普通の。「つ」
ūsuarīus¹, a, um, *adj.* [usus] 用益権を持つ。
ūsuarīus², i, m. [usuarius¹] 用益者。
ūsūcapere, *inf.* [usucapio].
ūsū-capiō¹, pere, cēpi, captum, *v. a.* [usus] 時効によって(所有権)獲得する。
ūsū-capiō², ōnis, *f.* [usus] 時効による所有。
ūsūcaptiō =usucapio.² 「し権獲得」
ūsūcaptus, a, um, *p. p.* [usucapio].
ūsūcēpi, *pf.* [usucapio].
ūsūra, ae, *f.* [utor] 1 使用, 利用; 用益。2 期間(horae)。3 利息。4 付加物。
ūsūrārius, a, um, *adj.* [usura] 1 使用に適する。2 金利の。
ūsūrpātiō, ōnis, *f.* [usurpo] 1 使用, 利用。2 『~ itineris 旅行の企て。3 不法な使用。』「使用の, 誤用の」
ūsūrpātīvus, a, um, *adj.* [usurpo] 不正。
ūsūrpō, āre, āvi, ātum, *v. a.* [usus+rapiō] 1 使用する, 利用する(alqd). 『jus ~ 有効にする。2 (合法的に)所有権を得る, 請求する。』[hereditatem ~ 相続権を得る。3 (不法に)横領する(alqd)。4 発言する, 言及する; 討議する。5 指名する。』
ūsus¹, a, um, *p. p.* [utor].
ūsus², ūs, *m.* [utor] 1 使用, 利用(alcis rei)。2 用益, 用益権(=usus fructus)。3 実行, 行動, 習慣, 実生活。『usu venire 生ずる, 起こる。4 熟練, 経験(alcis rei)。5 交際, 相識(alcis)。6 役立ち, 利益。』[ex usu alcis esse =alci usui esse ある人のため[利益]になる。]
ūsus-capiō =usucapio。[7 必要。]
ūsus-fructus, ūs, *m.* [fruo] 用益権。
ut, *adv., conj. I. (adv.)* 1 (疑問)いかに...? e.g. ut valeas?; videtis, ut in proverbio sit oovorun inter se similitudo. 2 (感嘆)何と!, 何とまあ! e.g. ut ille tum demissus erat! 3 (関係) ...のように, そのように。e.g. perge ut instituisti; ut potui. A (挿入句) ut aiunt; ut supra demonstravimus; ut dixi; ut fit. B (比較)ごとく, ように。(a) (ita, sic, eodem modo などと相照応して) e.g. ut initium, sic finis est. (aa) 『ut quisque...ita [sic].』各人が...であるだけ(それだけ), であれば...あるほどますます。e.g. ut quisque est vir optimus, ita difficillime alios improbos esse suspicatur. (bb) (対立) 『ut...ita [sic]』たとえば...やばり, なるほど...(だが)しかし。e.g. ut nihil boni est in morte, sic certe nihil mali. (cc) (誓言, のろい) =誓って, 確かに。e.g. ita vivam, ut maximos sumptus facio. (b) (照応する小辞なしに) (aa) として。e.g. quod non decet, poeta fugit ut maximum vitium. として=ゆえに。e.g. Diogenes liberius ut Cynicus locutus est. (bb) として(考えれば)。e.g. Epam-

inondas eloquens erat ut homo Thebanus. (c) (ut sic conjunctiv.) あたかも。(d) (關係代名詞とともに) (ut qui c. conjunctiv.) 彼は...のゆえに。e.g. multa de me questus est Caesar, ut qui a Crasso in me esset incensus. (e) (理由) ゆえに。『homo, ut erat furiosus, atrociter respondit 彼は怒っていたので... (f) (引例)。e.g. multi gloriose mortui sunt, ut Leonidas, ut Epaminondus. (g) (場所) ... (の)所に, そこに(詩的用法)。II. (conj.) 1 (c. indic.) (時)。(a) ...や否や。e.g. repente, ut Romam venit, praetor factus est. (b) 以来, このかた。e.g. ut Brundisio profectus es, nullas postea litteras a te accepi. 2 (c. conjunctiv.)。(a) (目的) ... (する)ことを, ... (する)ために。(否定の目的句では ut non の代りに ne を, 恐怖の観念を示す動詞に伴う否定の目的句では ne non を用いる。(b) (結果) その結果として。(否定は nt non)。(c) (譲歩) たとえ...であっても(否定は ne)。e.g. ut desint vires, tamen est laudanda voluntas. (d) (驚嘆または不平を示す省略的疑問文において) ...可能であるか? ...は信じ得るか? e.g. te ut ulla res frangat? (e) (願望) =utinam 願わくは...かし。
ut quid? *adv.* 1 何故に。2 何のために。
ut-cumque, *adv. conj.* 1 (adv.) (a) どんな方法でも。(b) ...に応じて[従って]。 (c) いかなる場合にも; とにかく。2 (conj.) ... (の)時はいつでも(=quandocumque)。「使用し得る」
ūtendus, a, um, *adj.* [utor] 使用されるべき。
ūtēns¹, entis, *pr. p., p. a.* [utor] 使用する, 所有する, 有用な。『utentior 更に有用な。』
Ūtēns², entis, *m.* Gallia Cisalpina の川(現 Montone)。
ūtensilia, ium, *n. pl.* [utor] 必要品(道具, 調度品, 食料など)。
ūtēnsilis, e, *adj.* [utor] 有用な, 必要な。
ūtentior, *adj. comp.* [utens].
ūter¹, tris, *m.* 1 (液体を入れる)草袋。2 うめばれ[虚栄心]の強い男。
uter², utra, utrum, (gen. utrius, dat. utri) *adj.* 1 二つの中のいずれ(の)。2 =utercumque 二つの中の(いずれでも)一つ。
uter³, erī, *m.* =uterus。
uter-cumque, utracumque, utrum-cumque, *adj.* 二つの中のいずれかの。
uterinus, a, um, *adj.* [uterus] 同じ母胎から生まれた, 同母異父の。
uter-libet, utralibet, utrumlibet, *adj.* 1 二つの中のいずれも。2 二つの中の(いずれか)一つの。
uterque, utraque, utrumque, *adj.* 二つの中のどちらも, 両方とも。
uterus, i, m. 1 (医)子宮。『~ bicornis 双角子宮。』[~ infantilis 小児様子宮。』[~ septus 中隔子宮。』[~ simplex 単一子宮。2 胎児。3 腹, 身体。4 内部。